

地の塩 世の光 子供の家幼稚園(園報)

No.11 2019年12月24日(火)発行

学校法人(認定こども園)子供の家学園

子供の家幼稚園

〒889-2535 日南市鰯肥3丁目2-20(TEL)25-0164

2020年 -1月- (園だより)

2019年度主題

ことばに満たされて~ひびきあう~

1月主題

取り組む

1月の願い

イエスさまがなさったわざやたとえ話を聞く中で、イエスさまを身近に感じる
好きな遊びを心ゆくまで楽しみ、ものごとや深く関わることが面白くなりそれが喜びとなる
健康な生活をするために、必要なことを自分からする
伝承遊びを楽しみ、ことばや数遊びの中に使うことが面白くなる

さんびか ナザレのおうち

聖句 わたしたちは見えるものではなくみえないものにめをそぎます
(コリントⅡ4:18~)

愛をたくさん持った子どもたちを育てたい

皆さん新年あけましておめでとうございます。

本年も子供の家幼稚園は子どもたち一人一人を心から大切にする幼児教育に励みます。どうぞ本年も子ども家の幼稚園にご支援・ご協力頂けますよう宜しくお願ひ致します。

今月の聖書の箇所は新約聖書 コリントの信徒への手紙Ⅱ4:18の「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます」というキリストの弟子パウロの言葉です。私たちはこの世を歩んでいると、自らの力でこの世の富や名誉を手に入れてやろうと思います。人生の中で順調な時は、私たちは自らの力に過信し、傲慢となり、この世の全てのものを手に入れる事ができると錯覚します。しかし、そのような歩みの中で、私たちは次第に大切なものを失っていく事にも気付きます。

この世を生きる上で、お金や社会的な地位や名誉だけが大切なのでしょうか。自らのこの世的な欲望にひた走る中で、私たちは次第に傲慢となり、自己中心的となり、他者への思いやりを失っていきます。その結果、私たちは気が付いてみると本当に大切なものを失っているのです。パウロは本当に「大いなるものは愛」(コロントⅠ 13)であると語っています。お金では絶対に買う事の出来ない、そして持とうと思えば誰にでも持つ事のできる愛が一番大切だとパウロは語ります。

私たちは愛をたくさん持った子どもたちを育てたいと思います。自らがのし上がるためには他者を平気で蹴落とす子供ではなく、少し自分が損をしても他者を大切にする事の出来る子どもたち。他者との友情や愛情を何よりも大切する子どもたち。他者の痛みが分かり、優しく寄り添う事の出来る子どもたち。私たちはこの様な子どもたちを育てる事が出来る様に今年も励んで参ります。

子供の家幼稚園 園長 葛井義頭